

天地

ネットワーク テーブル 483号

天地シニアネットワーク 2018.

11. 17

TENTĪ TODAY			1
会員の広場	「<政治家の劣化><近況・読書と日記><時は金なり>		2
連載作品			
随 想	天のわざ、地のほまれー地球を測れ、宇宙を測れ 58. 同時ということ	伊那 闊歩	4
記 録	ブドウ栽培奮闘記(2)	森永 善彦	7
旅行記	そうだ京へ行こう・古刹の花物語(56) 下鴨神社, 上賀茂神社ー「葵祭」	大竹 漢洲	9
講演会	「奈良興福寺文化講座」「新三木会」		10
事務局			11

TENTĪ TODAY

11月に入り、早々に喪中のハガキをいただき。街には早くもサンタクロースが飾られ、年末モード突入のようです。世の中、時間の進み具合が早くなったようですが、一方でいかにも勿体ない気がします。紅葉もまだ残っています。都心でも神宮外苑の銀杏並木などまだまだではないでしょうか。1年、残りの日々をゆっくり楽しみたいと思っているのですが・・

米国の中間選挙が終わりましたが、今後、世界がどのように変わるのか、答えはすぐに出ません。日本も、安倍首相の全方位外交で、国際的には大いに期待され、存在感が高まっているように見えますが、どれだけの手腕があるのか未知数です。期待が大きいだけに失敗の反動も大きいと考えられ、期待し過ぎるのも問題です。日米の株価が大きく揺れ動いていますが、その反映と思われ、しばらくこの傾向が続くとみているのですが・・

知っている人や出会った人、また訪ねた場所などがテレビ、新聞などでと、番組、記事が途端に身近になります。

11月にコンサートに行く予定にしていた前橋汀子さんが10月の日経新聞の「私の履歴書」に登場して、1か月間楽しませてもらいました。驚いたことに、11月の履歴書は興福寺の多川俊英貫主さん、天地でご案内の「奈良興福寺文化講座」にいつもお名前が出ています。

また、10月に奈良に行った折に、たまたま奈良女子大のキャンパスを訪ねのんびり散歩してきたのですが、10月末の日経新聞で画家の小倉遊亀さ

んが、奈良女子大の出身と紹介されていて、一段と想像が膨らみました。偶然が三つも重なると若干気味悪さを感じます。

会員の広場

<政治家の劣化>

トランプの酷さは言語道断として我が日本の政治家の劣化も同様です。どうか為らないので しょうか？

消費税の増税は公約ですからなんとしてもやらなくてははいけません。それだけでなく安倍さんのバラマキとアメリカ従属による武器の大量購入、こんなことを続けていたら、日本の財政破綻さえ現実問題になる恐れもあります。今の政府には選挙対策だけで「財政健全化」などという言葉は全く頭に無いようです。加えてハロウィンに浮かれている日本人の有様をみると……先が思いやられます。政治も日本人もいつから3流になったのでしょうか。
(井上茂之)

<近況・読書と日記>

読書

●「隠れナチを探し出せ」(the Nazi Hunters)・・ アンドリュー・ナゴルスキー(島村浩子訳)亜紀書房、初版 2018年1月18日、

ナチハンターたちが今日まで元ナチの追及を続けてきた大きな理由はリベンジではなかった。ジェノサイド(大量殺人)の罪を犯した者を法廷に引きずり出し、裁判と同時にその記録を後世に残すことが第一の目的。過去の惨禍を将来にぜひ伝えてゆくことの重要性を強調。ナチ追及の著作は数多く有るが一読に値する著作。

●「マーガレット・サッチャー……政治を変えた「鉄の女」・・富田浩司著、新潮選書、2018年9月25日発行

【良きにつけ、悪しきにつけ、21世紀のイギリスは彼女の記念碑である」とイギリスの高名な政治評論家が第一次対戦後の英国政治を分析した著作の中で指摘したそうであると著者が序文で触れている。著者は1957年生まれの元外交官。

●記憶力劣化防止策・・日記

知人の名前を思いだせない、漢字が出てこないなどなど記憶力の衰えがこのところ頻度高く認識させられている。日記を、その日の就寝前ではなく、翌日、あるいは翌々日に書くようにしている。年寄の日記は、日常の生活が必ずしも変化に富んでおらず、どちらかというところルーテン化していることが多い。

わたくしの場合には 書くべくこととしては 自分および家族のこと、国内的な事、そして国際的なことをカバーするよう努めている。翌日あるいは翌々日に書くことにより、少しでも過去のことを思いだすように頭を慣らさんとしているのですが効果あるかどうか？といったところです。

<時は金なり>

無料配布されていたコミュニティー誌「うえの」に東京・上野・寛永寺の浦井正明長臈が「御撞料の終焉」という文を載せておられます。江戸庶民の生活、知らないことばかりですが、江戸時代から明治時代と、街中に時刻(時間)を知らせる「時の鐘」が用意され、それが<有料だった>というのにいささか驚きました。

江戸では、17世紀の半ば以降なのでしょうが、「時の鐘」制度が幕府の管轄下で出来上がっています。最初の9か所は

- ① 本石町(現在の日本橋小伝馬町) ② 上野寛永寺、③ 市ヶ谷八幡、④ 赤坂田町成瀬寺、⑤ 芝増上寺、⑥ 目白不動尊、⑦ 浅草寺、⑧ 本所横堀、⑨ 四谷天龍寺

「時の鐘」は、請負人、鐘撞人という特定人物か、各寺社がその任を負い、その費用は鐘撞料として徴収したり、あるいは托鉢でまかなっていたそうです。鐘つきは、本石町からスタートし、前の鐘の音を聞いたら、次の鐘は直ぐに打つというように運営され、誤って遅速があったりすると厳しい罰則が科せられたそうです。

寛永寺の「時の鐘」の「鳴鐘料」は、寛文9年(1669年)に、柏木好石という人が幕府と寛永寺の許可を得て、鐘を突き始め、その折に、幕府三奉行所(寺社、町、勘定)の連判を以て、鳴鐘料の割り付け帳を得たことに始まったそうです。

「鳴鐘料」は、武家は石高で、社寺や町方は間口で、料金が決まり、寛永寺は自分のところの鐘なのに、年に7両2分も払っていたと、浦井正明長臈は愚痴っておられる。

鳴鐘は、戊辰戦争で中断しましたが、明治二年二月二十六日、正午から再開されました。しかし、市中騒然のため、鳴鐘料は集金できず、さらに明治五年十一月から昼夜十二時間が二十四時間制に変わったために、鳴鐘回数が倍増し、負担が大きくなります。

さらに時代は変わり、時計を所持する人が増え、社会的な騒音が増えて聞こえないという苦情が増えたりして、経営的が苦しくなり明治三十三年三月(一九〇〇年)東叡山時鐘請負人・柏木朝太は、毎月の料金を、表通りの家は5厘(従来3厘)裏通りは2厘(同1厘5毛)と増額申請するのですが却下され、有料の鳴鐘は、終焉を迎えたそうです。

その後、寛永寺はやむなく自費をもって鳴鐘をつづけることにし、朝夕6時と正午の3回、鐘を撞き続けているそうですが、第二次世界大戦の末期には休鐘に追い込まれ、戦後昭和22年に再復活し、以後、日に3回、鳴鐘を続けているそうです。

(津田孚人)

連 載

天のわざ、地のほまれ —地球を測れ、宇宙をはかれ—

伊那 闊歩

58. 同時ということ

次のような問題を考えてみよう(*)：

超高速で走っている列車が、今ちょうどホームを通過中である。車内の前後にはランプが付けてあり、中央には爆弾が置かれている。車内中央にいて(列車とともに移動する)観測者は、2つのランプが「同時に」光るのを見た。とたん爆弾が炸裂して(あわれ)爆死するのだ。この列車の中央が、ホームにいる別の観測者の前を通過した時、この観測者は列車の前後のランプが「同時に」光るのを見た。さて、この時爆弾は爆発したのであろうか。

この問題は、慣性系での時間の推移や同時性などを理解する上で基本的に重要なので、この問題を解決しておこう。そのために、前回導入したミンコフスキー・ダイアグラム(世界図)を用いて視覚化して考えよう。

ホームを通過する列車のスピード v は秒速 24 万 km (光速の 60%、 $\beta = v/c = 0.6$) であったとしよう。ホームに固定した座標系を (u, x) 、列車と共に動く座標系を (U, X) とすれば、それらはローレンツ変換：

$$U = \frac{u - \beta x}{\sqrt{1 - \beta^2}}, \quad X = \frac{x - \beta u}{\sqrt{1 - \beta^2}}$$

によってむすばれており、ここに $\beta = 0.6$ を代入すれば、 $\sqrt{1 - \beta^2} = 0.8$ であるから

$$U = \frac{u - 0.6x}{0.8} = \frac{5}{4}u - \frac{3}{4}x, \quad X = \frac{5}{4}x - \frac{3}{4}u$$

となる。列車内での時間の推移を T とし、ホームでの時間を t とすれば

$$U = cT, \quad u = ct$$

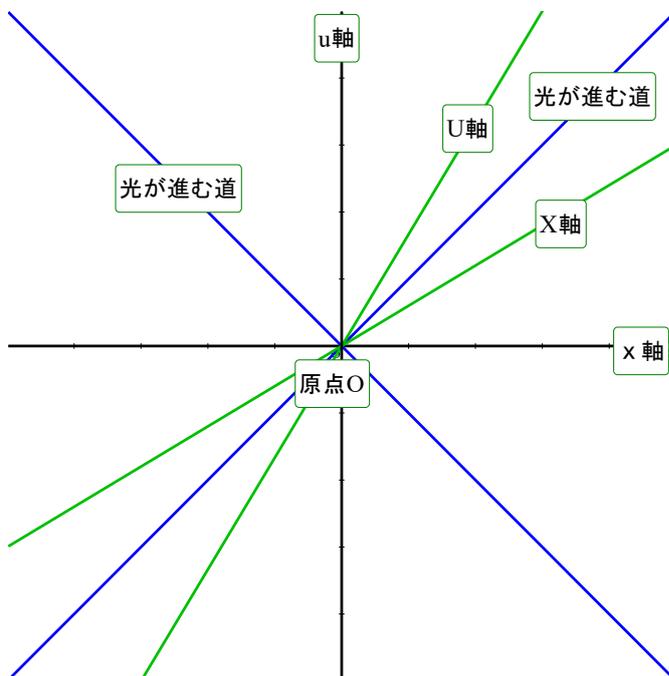
で与えられるのであった。

これらをミンコフスキー・ダイアグラム(世界図)として表したものが fig.1 である。空間は x だけの 1 次元としているから、時間($t = u/c$)と合わせて 2 次元平面上に書けるのである。観測者 P は、ある(直角)座標系 (u, x)

にいて宇宙を俯瞰している。そこにスピード v で移動する別の慣性系 (U, X) が現れてそこにも別の観測者 Q がいる。冒頭に掲げた問題では、 P がホームにいる観測者、 Q は列車内中央にいる観測者である。 Q の動きを (u, x) 座標上に書いたものが図の U 軸そのものである。なぜなら、観測者 Q は列車の中央（つまり $X = 0$ ）にいて U 軸上ではつねに $X = 0$ であって、したがって、 $X = (5/4)x - (3/4)u = 0$ から $u = (5/3)x$ が U 軸を与える式である（ X 軸は時間 $T = 0$ のときの、つまり $U = 0$ のときの列車内の位置を表わすので $u = (3/5)x$ となる）。

2本の青色の直線は光が進む道（それぞれ $u = x, u = -x$ ）をあらわす。 U 軸、 X 軸は、光の進む道を対称軸として常に線対称の位置にある（図の2本の緑色の直線）。

fig.1 ミンコフスキー・ダイアグラム（世界図）

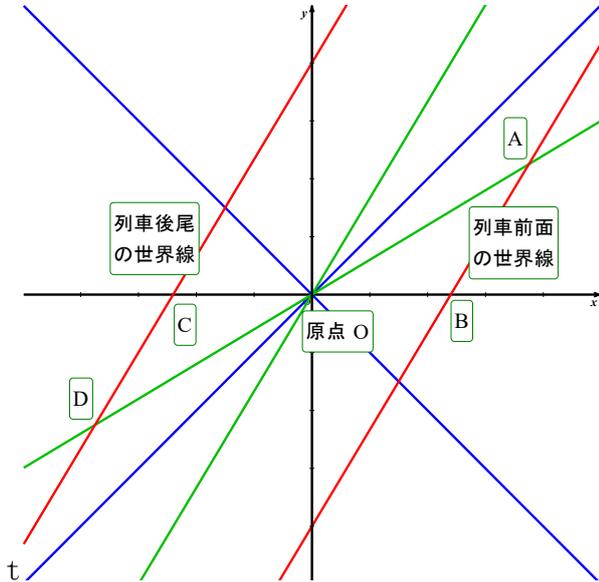


座標系 (U, X) は直角座標系ではない斜交座標系なので、慣れないと少しとまどうが、直角座標系では、長方形の頂点として与えられる座標が斜交座標系によれば平行四辺形の頂点として与えられるというだけの違いである。

座標 (u, x) 上に、運動する物体の動きを曲線（直線）として記せるとき、記された線を世界線ということがある。列車中央の動きを世界線として表す

と、それは fig.1 の U 軸そのものになっている。これに列車の前面と後尾の動きを世界線として記入したものが fig.2 の 2 本の赤線である。

fig.2 世界図の中に描いた列車前面、中央、後尾の世界線



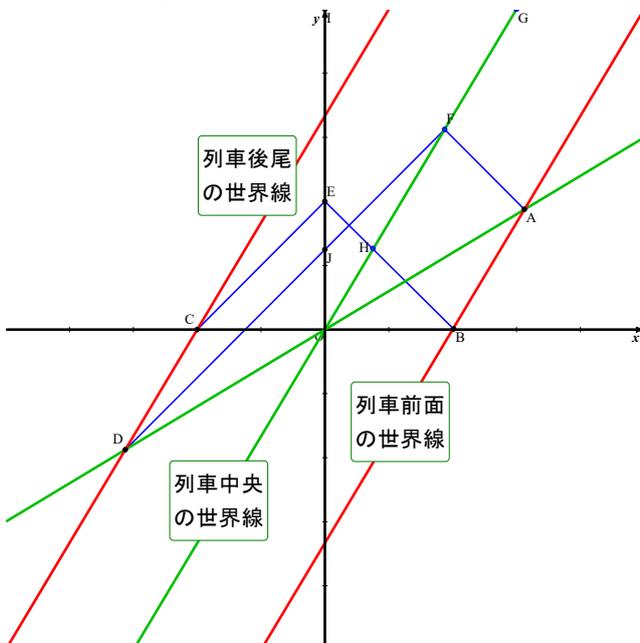
こうして作られた図 (fig.2) をよく調べてみよう。ホームにいる観測者 P は時刻 $t = 0$ に目の前を通過する列車が BC の位置にみえているであろう。時間の推移とともに、BC は赤線上を平行移動して行くのだ。一方、列車内にいる観測者 Q から見た列車の長さは AD である。AD 上での時刻は $T = 0$ なのであるが、 t の時刻として見ると列車の前面 A の時刻 $t > 0$ 、列車の後尾 D の時刻 $t < 0$ となっている。列車 AD は、その中央が原点を通過後、時間の経過にしたがって赤線上を平行移動して行くのだ。

次に、観測者 P は列車の中央が原点 O を通過したときに、列車の前面と後尾のランプが同時に点灯したのを見たとする。その後ランプの光は列車中央に、はたして同時に到達したであろうか。この答えはミンコフスキー・ダイアグラム (世界図) fig.3 を見れば一目瞭然なのである。列車前面のランプから出た光は列車の中央 H を経て E に達する。列車後尾 C のランプの光は E に到達する。これから明らかなように、この 2 つの光は列車中央で出会うことがない。なお、C から出た光は E を経て列車中央には、かなり遅れて G 点

に到達するのだ。2つの光は“同時には”列車中央に届かないことがわかる。こうして目出度く爆弾は爆発しないことがわかった。

一方、列車内に居る観測者 Q は時刻 $T = 0$ の時に AD が列車の長さであると認識するであろう。そのとき同時に前後のランプが点灯するのを見たならば、爆弾は爆発する。fig.3 で確かめてみよう。列車の前面 A から出た光は列車中央の F 点に達すると、同時に、列車後尾 D から出た光が中央 F 点に到達する。こうして爆弾は爆発するが、 (u, x) 座標系から眺めてみれば、D から光がでるのは $t = 0$ 以前であり、A から光がでるのは $t = 0$ 以後のことである。

fig.3 光はどこで出会うか



以上まとめるとこうである。ある現象を観測して、一方の観測では、その現象（爆発）が確実に起きるのであるが、また別の観測によれば決して起きなかったりすることが生じるように思われる。上記の実験はひとつの実験を見方を変えて観測したように見えるが、じつは2つの実験を同一視することによって生じた疑問なのであった。

つまり、列車内での同時はホームでの同時ではないのである、ホームでの同時は列車内の同時にはならない。列車内での同時とホームでの同時が“同時に”起こり得るといふ安易な設定によって矛盾が生じるように思われ、わけがわからなくなるのだ。

(*) 今回も、松田卓也、木下篤哉「相対論の正しい間違え方」を参考にさせていただきました。

ブドウ栽培奮闘記 2 回目をお届けします。奮闘記第 1 回では何故ブドウ作りに挑戦する事にしたのかの理由、育て方の本を買って学習した事、育てるブドウの種類（ベニバラオー）を決めて苗木を山形の苗木業者に発注し、初冬に苗木を入手し仮植えした所までをお話ししました。

2015 年の初春 3 月仮植えしていたベニバラオーの苗をプランターに本格的に植え直しました。植えて 1 年目は苗木をある程度伸ばすのが主な仕事です。教本に従い玉肥を苗木の周りに埋め込み、毎日の水遣りを欠かさず成長を見守っているとこの年は 20 センチの苗木が徐々に伸びて大きな葉も繁り、ウッドデッキの屋根の下に吊るした棚に届き、5 メートル位のブドウの木（主枝）に育ちました。1 年目にやる事は 5 メートルに伸びた木を葉が枯れて落ちたから剪定する事だけです。

教本には半分切り取れと書いて有りましたが、折角大きく伸びた木をそんなに切るのは忍びなく 3 分の 2 を残し、3 分の 1 剪定しました。

2 年目は矢張り肥料を施すのと水遣りが大切で後は成長を見守るだけです。剪定した木が 5 月位からどんどん伸び始め、最終的には 7-8 メートルまで成長しました。また 1 年目は幹に大きな葉が付いただけでしたが、2 年目は葉の出た所から更に側枝と言う枝が何本も出て来てそれも 1 メートル位伸びて来ました。ウッドデッキの上に用意した棚の半分を側枝が覆い始めたのでこれは順調だと内心安堵しました。

また 5 月の終わり頃 3 房花穂が付き、花が咲いて結実し房がどんどん大きくなり始めました。2 年目に数房実がなるのが一般的だそうで、予定通り順調に生育している事になります。

8 月初め頃から房に付いている実も 1 つ 1 つが大きくなって来て、実の色も初めは緑色でしたがやがてベニバラオー特有の深紅色に変わってきました。

なお次年度の本格収穫の演習を念頭に教本に沿って次の様な手入れを行いました。

- 1) 葉が出て来るとその横に細い蔓が延びて来るが蔓はブドウ作りでは害になるので、全て蔓が伸び次第逐次切り取る。
- 2) 葉が出てきたらその側枝の先を切り詰める。
- 3) 花が結実し実が大きく成り掛かったら側枝の根元に副穂と言う余分な芽が出て来るのでこれも全て切除する。
- 4) 房作り 房の先端を切り取り花穂は 7-8 センチの大きさにする。
これを怠ると細長い形の悪い房になる。
- 5) 摘房 実の付きの悪い房は除去し良い房だけを残す。なお 2 年目は 3 房しか出来なかったのも特に摘房は行わなかった。
- 6) 摘粒 これが一番面倒臭い作業で房の中の結実した実の中で形の悪い物、小さい物を細目に除去する。
- 7) ジベレリン処理 種無しブドウにするには花穂の段階で 1 回、花が咲

いた2週間後に1回花穂をジベレリン液にドブ付けにする。こうすると種無しブドウになる。ジベレリンはホルモンの一種で30-40年前に誰かが偶然種無しブドウになるのを発見したそうです。大きなホームセンターで容易に入手出来ます。

8) 袋掛け 以上の作業が終わったら1房ずつ紙の袋か化学繊維の袋を掛けて虫よけと直射日光の防止を行う。ホームセンターで買ったブドウ用の紙の袋は小さかったので房が大きくなる途中で風通しのある化学繊維の布を買って自分で袋を作り取り替えました。

以上の作業を行うと後は実が大きく育つのを待ちます。8月末頃良く熟し大きな実のベニバラオーのブドウになったので収穫し賞味しました。

3房だけで種もありましたが、まずまず甘く良い出来でした。

と、こう書くと簡単にブドウを作れると思われるでしょうが、兎も角手が掛かり、しかも棚からぶら下がっている花穂や房を小さな脚立に乗ってずっと上を見上げながら作業するので結構重労働です。

山梨などに行くと鉄道沿線にあるブドウ園を見かけますが、皆棚が低く作られています。これは上記の作業をし易くする為だと思われます。ブドウは結構値段が高い果物ですが手間暇を考えると値段が高いのも頷けます。

一応春から秋に掛けてのブドウの生育の経験をしたのでいよいよ沢山の房が出来る次年度を待つばかりです。本格収穫をする次年度の話は次回致します。



2年目に枝が伸び夏には葉が茂った 8月末に熟した3房の内の一房

(2018年 11月 13日)

<そうだ京へ行こう・古刹の花物語> (55)

大竹 漢洲

下鴨神社，上賀茂神社—「葵祭」

京都は祭りの都です。毎日、京都の何処かで祭りが行われていると言って

も過言ではありません。今、手元に『京暦（きょうごよみ）365日』（らくたび文庫ワイド発行）があります。副題に“都ぐらしのいざない帖”とあるように、京都で行われる365日の祭事が、1月（睦月）1日元旦の平安神宮「初詣」から12月（師走）31日大晦日の八坂神社「をけら詣り」まで、毎日の祭事が記載されていて、“京好きな人”には格好な本です。因みに、今日5月15日の箇所を開くと“王朝絵巻が新緑まぶしい街に行く「葵祭」”とあります。東京では神田明神の祭礼が終わり、浅草三社祭りが始まっています。五月は西も東も祭の季節です。

京都の「葵祭」は、一日間で終わる祭ではありません。先立って前儀が行われます。5日には上賀茂神社で行われる「流鏝馬会神事（5月3日）」、祭の主役斎王代の清め祓い、「斎王代青祓神事（5月4日）」が上賀茂神社と下鴨神社とで交互に行われて、本祭の「葵祭」が始まります。

京都には三大祭があります。「葵祭」「祇園祭」「時代祭」です。開催日が毎年一定の祭は、「葵祭」と「祇園祭」です。この祭事は神に対する奉祀ですから、人間が勝手に開催日は変えられません。

宿屋に手配をしてもらい、京都御所前の観覧席に座りました。祭の楽しみは芝居と映画と同じで、始まる前の高揚感があります。祭の先頭が見えるまでの時間です。期待感で一杯です。孫たちの運動会や演奏会で待つ心境にも似ています。御苑付近から歓声が上がっています。間もなく先頭の到着でしょう。

「葵祭」は、上賀茂神社と下鴨神社の総称である賀茂社の祭礼です。正式な名称は「賀茂祭」です。歴史は古く、仏教公傳の6世紀頃に始まったと言われています。欽明天皇の時代に、度重なる風水害が原因で、凶作が続きました。占った所、賀茂の神の祟と分かり、怒りを鎮めるために馬に鈴を付けて走らせて、五穀豊穰の祈願をしたのが「葵祭」の始まりです。今日では「葵祭」に先だつて下鴨神社で「流鏝馬会神事」が催されます（上賀茂神社では「競馬会神事」）。「流鏝馬会神事」は糺しの森の中央にある長さ500mの馬場で、公家風の装束や武家風の狩装束姿の射手が、疾風する馬上から3本の矢を射る神事です。射手のがけ声のイン・ヨー”は、陰陽を占っています。的を射抜けば五穀豊穰が叶えられ、諸願は成就すると言われています。

「葵祭」は馬と深く関わっている祭です。説明は難しいですが、“宮中の儀”“路頭の儀”“社頭の儀”で成り立っています。“路頭の儀”が、市内を練り歩く「葵祭」と言われる祭です。平安時代の衣装を身に付けた人々—近衛使・檢非違使・馬寮使・内蔵使の本列と、斎王代を始めとする女人の列を合わせて総勢500名が、京都御所から下鴨神社を経て上賀茂神社まで8Kmの都大路を歩きます。

「葵祭」の本来の主役は、本列の馬寮使の引く馬たちです。祭りでは、馬に対する観客の意識は低く、関心は「斎王代」に集まり勝ちです。「斎王代」は必ず「葵の葉」を身に付けていることに由来して「葵祭」と呼ばれています。

「葵祭」の本来の主旨を知っている人は多くありません。「斎王」とは、本来は賀茂神社の御杖代として仕えるために、皇室から差し出された内親王・女王を言いました。「葵祭」の「斎王代」と女人の列は、祭を盛り上げるため

に新たに設けられました。昭和31年(1956年)。一般の女性から選ばれるので「斎王」では無く「斎王代」と呼ばれています。

「斎王代」は「葵祭」の当日の天候の如何に関わらずに、唐衣裳装束を着用して、化粧は、顔を白塗りし、お歯黒にしなければなりません。大変な労力です。

平安寺代の「祭」と言えば「葵祭」を指しました。『源氏物語』の「葵」の巻では、光源氏が参列する「葵祭」を見学しようと、訪れた正妻・葵の上と恋人・六条御息女との車争いの場面を紫式部は書いている程、京の都では歴史のある祭です。

今年も「葵祭」が無事に終わりました。暑い夏のような日々が続いた一日でした。

文化講座・講演会

奈良興福寺文化講座 2018年12月13日(木曜日)

午後5時半～6時半：第一講

「瑜伽行入門—信願上人良遍の『唯識観作法』を読む—」

興福寺録事補 Saile 暁瑛

午後6時40分～7時・・・心を静める

午後7時～8時：第二講

連続講話・「奈良・祈り・心」

興福寺 貫首 多川俊映

会場：(学)文化学園 文化服装学院内

受講料：500円 先着200名

(JR新宿駅南口、小田急線、京王線各新宿駅から8分、都営新宿線新宿駅3分)

第101回 新三木会 講演会のご案内

1、日時・会場 2018年12月20日(木) 13:00-15:00
如水会館

2 『ITを軸とした世界経済の変化』

野口 悠紀雄氏 一橋大学名誉教授

3. 申込・会費 E/Mail: shinsanmokukai@gmail.com

TEL: 047-464-4063

フルネーム：一般・天地シニアネットワークと伝えてください

4、会費：2000円 婦人1000円 学生無料

*茶話会：15:15-14:20 千円(自由参加)

5. ホームページ

<http://jfn.josuikai.net/circle/shinsanmokukai/>

6 今後の予定

第102回 1月17日(木) 『これからの中国と日本を考える』

一橋講堂(会議室)

石 平氏

評論家 元拓殖大学教授

第103回 2月21日(木) 『習近平、中国共産党の行方』スターホール

事務局

<投稿><図書のおすすめ>を歓迎します。

<プリント版・郵送>

メール版を編集してプリント版を月に1回発行郵送しています。

お申込みくださればお送りします。一応、実費として1月350円(4200円/年)をいただいておりますが、強制するものではありません。

<振込先>振込先：三井住友銀行「神田支店」 (普通) 7871532
(口座名) テンチシニアネットワーク

天地シニアネットワーク・テーブル・483号

発行：2018年11月17日

天地シニアネットワーク事務局 (津田 孚人)

住所：〒116-0001 荒川区町屋3-2-

1

ライオンズプラザ町屋703

メールアドレス：tentisenior06@gmail.com

電話・FAX・03-3819-7651